



開催概要

尾張旭市を暮らしやすく、魅力的なまちにするため、市民や事業者の皆さん等に参加いただき、市民ワークショップ「あさひまちづくり会議」を開催しました。ワークショップの成果は、尾張旭市第六次総合計画の検討の場に提示され、計画に反映されます。

8月20日に開催した第1回では、尾張旭市の魅力について意見交換をしました。今回は、こうした魅力があることによって、尾張旭市でどのような人がどのような魅力的な生活・仕事ができるかを考え、それをキャッチコピーにするための意見交換を行いました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底して開催しました。

- ◆日時：2022年9月10日(土)10:00~12:00
- ◆会場：尾張旭市役所南庁舎3階 講堂
- ◆参加者数：31名



当日のプログラム

■ 第2回「わたしたちが思い描く、理想の暮らし！」

- ①前回の振り返り 第1回ワークショップで実施したことを振り返り、今回のプログラムを説明しました
- ②調査結果報告 市民アンケート調査の主なポイントについて紹介しました
- ③アイスブレイク どのような人が参加しているかを確認しました
- ④グループワーク 尾張旭市のキャッチコピーを考えました
- ⑤成果発表 各グループの話し合いの結果を参加者全員で共有しました
- ⑥投票・意見交換 参加者が共感できるキャッチコピーを選択しました



意見

参加者は7グループに分かれ、尾張旭市のキャッチコピーを考えました。与えられた自分とは異なるペルソナ(属性)をもとに、尾張旭市らしい魅力的な暮らし方について意見交換をしました。ここには、共感の多かった意見を抜粋して掲載します。

■ 80歳ひとり暮らしの人が明日が楽しみになるまち (その理由)

- 地域の人たちとのつながりが強い町なので安心
- 将来、あさひ一号が自動運転になり、町のいろいろなところへのサービスが充実しそうだから
- もし災害があっても、行政の目が行き届きやすそうなのでとても安心



■ シングルマザー・ファザーが安心して生活と子育てができるまち (その理由)

- 子育て支援サービスの充実(待機児童ゼロなど)
- 「地域で子育て」の実現(ファミサポなど)
- 子育て応援だけでなく、食事の支度などのサービスもあるといい←希望
- 近所の人々の目が行き届いている
- 医療費無料化が進んでいる(10月~18才まで)



■ 子育てママ・パパが思い出をつくれるまち (その理由)

- 祭りや伝統行事などのイベントが沢山ある
- 子どもも大人も楽しく参加しているイベントがある
- イベントに家族や知り合いが出ているから見に行くという、つながりがある
- みんな一緒にイベントをつくれる面白さがある



■ 働くために来日した外国人がSNSで紹介したくなるまち (その理由)

- 水道水がおいしいらしい←飲めること自体がおどろきのはず!!
- 都会(名古屋)に丘の伝統行事(和太鼓)が残っている←和の文化がグッとくる!
- 緑、自然が多い←自国のまちづくりの参考になるのでは?



感想

楽しい雰囲気の中で意見交換ができ、参加者の皆様からは、満足度の高い感想をいただきました。

- 尾張旭の良い事や願いを話し合う事ができた
- 最初は難しいかなと思っていたのですが、意外とすんなりイメージが湧きました
- 年代によって視点が違い、貴重な意見が聞けた面白かった!

第3回は10月1日(土)に開催します。テーマは「心豊かな暮らしをみんなで実現しよう!」です

